国　語　科　学　習　指　導　案

単元名「昭和村のみりょくをリーフレットにまとめよう」
教材名「工芸品のみりょくを伝えよう」〔学指要領：知⑵ア、思Ｂ⑴ウ〕

令和〇年〇月〇日（〇）　第５校時　音楽室

昭和村立東小学校　４年〇組　〇名　指導者　〇〇　〇〇

Ⅰ　単元の構想

1　単元の目標及び児童の実態

	目　標	児童の実態
知識及び技能	・考えとそれを支える事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。⑵ア	
思考力、判断力、表現力等	・自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。B⑴ウ	
学びに向かう力、人間性等	・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	

2　評価規準

知識・技能	〇考えとそれを支える事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
思考・判断・表現	〇「書くこと」において、自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	〇積極的に、自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、調べて分かった魅力を伝えようとしている。

3　指導及び評価、ICT 活用の計画　※別紙参照

4　言語活動の価値

　本単元では、児童が昭和村の魅力について具体的な事例を示してリーフレットを作成し、交流のあるＫ県の小学生に読んでもらう活動を行う。１学期の交流の際に６年生が昭和村のよさを発表した姿を想起することで、自分たちも調べてまとめたいという意欲につながるとともに、交流した児童が次回昭和村を訪問する際の目的になるかもしれないという期待感から、事例の取り上げ方や並べ方を工夫したり、つなぎ言葉を意図的に用いたりといった工夫を、積極的に取り入れて書こうとする態度の育成につながる。

　本単元の直前には、教科書教材「未来につなぐ工芸品」を用いた「読むこと」の学習を行っている。工芸品の魅力について書かれた文章を読んで学んだことを生かし、昭和村の魅力について書く活動は、文章の中心や、考えと事例との関係についての理解を深めることにつながる。

　また、リーフレットという限られた紙幅の中に、伝えたい魅力の根拠として具体的な事例を用いることは、児童が魅力と事例の関係に着目し、自分の考えと事実・経験を結び付ける力の育成につながるとともに、必然的に載せる情報を取捨選択することになるため、昭和村の魅力を伝えるために用いる情報について、分類したり有用性を比較して判断したりする力を高めることになる。

Ⅱ　本時の学習（４／６）

１　**ねらい**　伝えたい魅力と具体例のつながりを視点に具体例の書き表し方を検討し、修正する活動を通して、伝えたい魅力に合った具体例を詳しく書くことができるようにする。

２　展　開

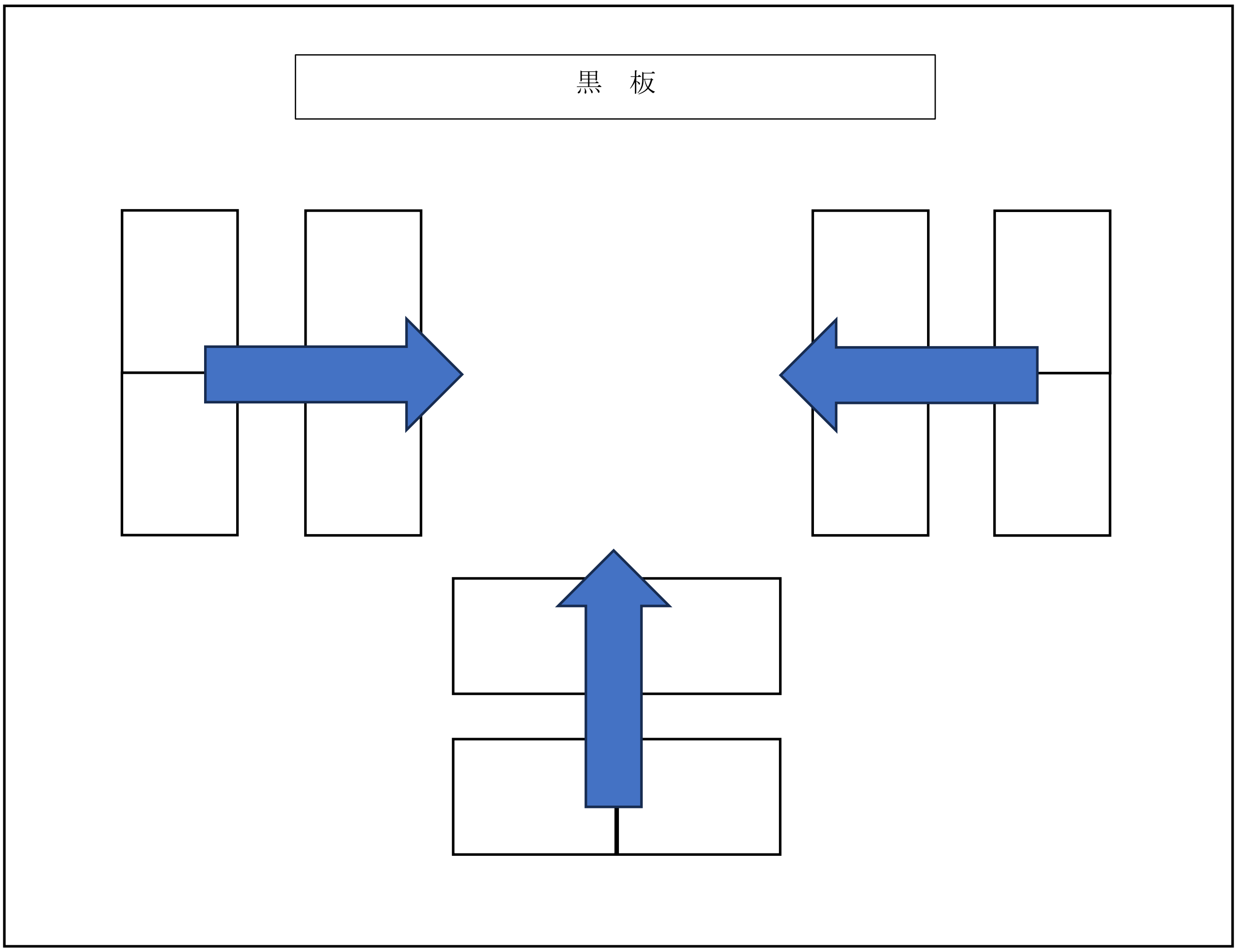
主な学習活動 予想される児童の意識〔Ｓ〕	○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
１　前時の学習を振り返り、学習計画を基に本時のめあてをつかむ。（10 分） Ｓ：リーフレットの下書きを改善する時間だな。 Ｓ：このままだと昭和村に来たいとは思えないかもしれないな。もう少し詳しくしたいな。 ＜めあて＞ 　みりょくと具体例のつながりに気を付けて、具体例を詳しくしよう。	○本単元の学習に対する必要感を維持できるように、Ｋ小の児童に対してリーフレットを作るという単元の課題と学習計画、ゴールイメージであるモデル文を常時掲示しておく。 ○魅力が伝わりやすくなる文章の書き表し方に課題意識が持てるように、詳細な情報が不足している下書きのモデル文を提示し、修正点を問いかける。
２．下書きの具体例の部分の書き表し方を検討し、修正する。（30 分） Ｓ：こんにゃくの「おいしい」という魅力を伝えたいのだけれど、おでんのことしか書いていなかったな。前の時間には、ほかにも刺身こんにゃくとか、しらたきサラダも具体例として集めたから、それも使えるかな。 Ｓ：確かに友達が言うように、おでんや刺身こんにゃくは昭和村以外にもあるから、Ｋ小の子にとって珍しいものの方がいいのかな。 Ｓ：こんにゃくグミはどうかな。そういえば、こんにゃくゼリーやこんにゃくアイスなど、スイーツとしても食べられているよね。 Ｓ：「おいしい」という魅力を伝えるための具体例が結構集まったよ。友達は、具体例を説明するときに「例えば」を使ったのだな。僕も使えるところには使ってみよう。 Ｓ：だいぶ詳しく書けてきた気がするな。こうなると、こんにゃくの魅力って、「おいしい」でもいいけれど、「いろいろな食べ方を楽しめる」というのでもいいかもしれないな。魅力の方を直してもいいのかな。 Ｓ：もう少し詳しく書きたいけれど、言葉だけで書くのは難しいな。次の時間に、詳しく伝えるための写真を探してみようかな。	○魅力に合わせて書き加える情報を見いだせるように、前時に情報を整理した図を参照するよう促す。 ○複数の具体例の書き表し方を比較して、修正の手掛かりを得られるように、必要な時に交流できる座席の配置を設定する。【別紙参照】 ○具体例の書き表し方を繰り返し問い直すことができるように、修正した具体例を記述する付せん紙を用意し、ワークシートに貼ったりはがしたりして使用するよう促す。 ○魅力と具体例とのつながりについて意識できるように、関係を表す言葉を用いている児童の記述を紹介し、よさを問いかける。 ○魅力と具体例のつながりがあいまいになってきた児童に対しては、修正した具体例と魅力のつながりを確かめられるように、書くことと読むことを繰り返すよう促す。 ○魅力と具体例の書き表し方についての既習事項を想起しながら完成を目指せるように、前単元の説明的な文章の学習で使用した本文や学習のポイントを掲示しておく。 ◆評価項目（思◯） 　ワークシートの記述から、「魅力と具体例のつながりに気を付けながら、具体例を詳しく修正しているか」を評価する。
３　学習内容の振り返りをする。（５分）	○魅力に合った具体例を詳しく書くことのよさを実感できるように、めあてに立ち返って振り返るよう促す。

〈振り返り〉

Ｓ：具体例が一つしかないときよりは、いくつか書いた方が、より魅力が伝わりやすいと思いました。また、ただ具体例を並べるだけだとつながりが分かりにくいので、「例えば」とか、「一つ目は」といった言葉を使うようにしました。Ｋ小の子に、昭和村の魅力がもっと伝わるリーフレットにしていきたいです。

（別紙）

３　指導及び評価、ICT 活用の計画（全６時間：本時第４時）※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	・I 市の魅力についてのリーフレットを読んで、魅力が伝わる書き表し方を話し合い、単元の課題を設定する。 **単元の課題　Ｋ小の５年生に昭和村のみりょくが伝わるように、みりょくと具体例がはっきり分かるリーフレットを書こう。** ・単元の課題を基に、学習計画を立てる。			○
2	・紹介したい昭和村の魅力についての情報を、付せんを用いた図に整理する。	○		
3	・付せんを用いた図に整理したことを基に、下書きする。	○		
4	・伝えたい魅力と具体例のつながりを視点に具体例の書き表し方を検討し、修正する。		○	
5	・リーフレットに昭和村の魅力をまとめる。		●	
6	・リーフレットを読み合って感想を伝え合い、学習を振り返る。	●		●

座席配置